

インターネット掲載文章

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学教室 HP (<http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/>) へ
掲載予定

内容：

「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を利用した、COVID-19 パンデミックが小児慢性疾患発症及び重症化に与えた影響についての研究」を行います

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

責任研究者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 疫学・衛生学分野

助 教 松本 尚美

1. 研究の意義と目的

COVID-19 に代表されるように、グローバル社会における新興感染症の流行は、経済のみならず、国民の健康全般に長期にわたる多大な影響をもたらします。特に未来を担う乳幼児・小児への影響が心配されます。また、COVID-19 パンデミック禍では国民の衛生行動の変化から多様な感染症が激減したため、この前後の小児科疾患発症数や重症化の程度を検証することで、感染症と小児科疾患の発生・重症化の関連についての重要な知見が得られる可能性があります。本研究の目的は、匿名医療保険等関連情報データベースの情報を利用して、COVID-19 流行による社会変化や他の感染症の動向により、日本の子ども達の新規診断数がどのように変化したかを明らかにすることです。本試みは、今後の感染予防施策や医療体制構築に向けた新たな取り組みを提言すると共に種々の小児慢性疾患に感染症流行がどの程度寄与するかを解明する端緒となると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象及び調査・研究期間：

2017 年 1 月から 2024 年 3 月に保険者データベースで対象疾患の受診記録のある日本全国の 18 歳以下の患者さんのべ約 2000 万人が研究対象となります。この研究は、研究機関の長の許可日後、厚生労働省によるデータ利用承認後から 2027 年 8 月 31 日まで実施します。

情報の利用（または提供）開始予定日：研究機関の長の許可日後、厚生労働省によるデータ利用承認日

3) 研究方法：

岡山大学において、匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を用いて、新型コロナウイルス感染症がお子さんの健康にどのような影響を与えたかを解析します。月ごとの慢性疾患の新規に診断される数の推移について調べます。

4) 使用する情報：

研究資料は、匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）のデータを用います。患者基本情報として、年齢、性別、受診都道府県、傷病名コード、診療開始日、診療年月、受診の主たる原因となる病気だったかどうかを取得します。岡山大学の研究者が、各個人の調査票を入手することはなく、厚生労働省から取得する時点で完全に匿名化された情報となるため、個人が特定されることはありません。

5) 情報の保護：

調査情報は、研究の中止または研究終了後 1 年間、岡山大学大学 疫学・衛生学分野の解析室で厳重に取り扱います。電子情報はパスワードで制御されたハードディスク内で保存、またそのハードディスクも施錠可能な状況で保存します。

本研究で用いる情報は厚生労働省からデータの提供を受ける時点から完全に匿名化されているため、岡

山大学の研究者が個人を特定することはできません。調査結果は関連の学会および論文にて発表する予定です。

6) 研究計画書および情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

所属：岡山大学学術研究院医歯薬学域 疫学・衛生学分野

職名：助教 氏名：松本 尚美

(平日昼間) 電話/FAX：086-235-7173 (9:00～16:00)

(土日祝日夜間) 電話/FAX：086-235-7173 (留守番電話)

既存情報の提供のみを行う機関

厚生労働省 機関長氏名 武見 敬三